

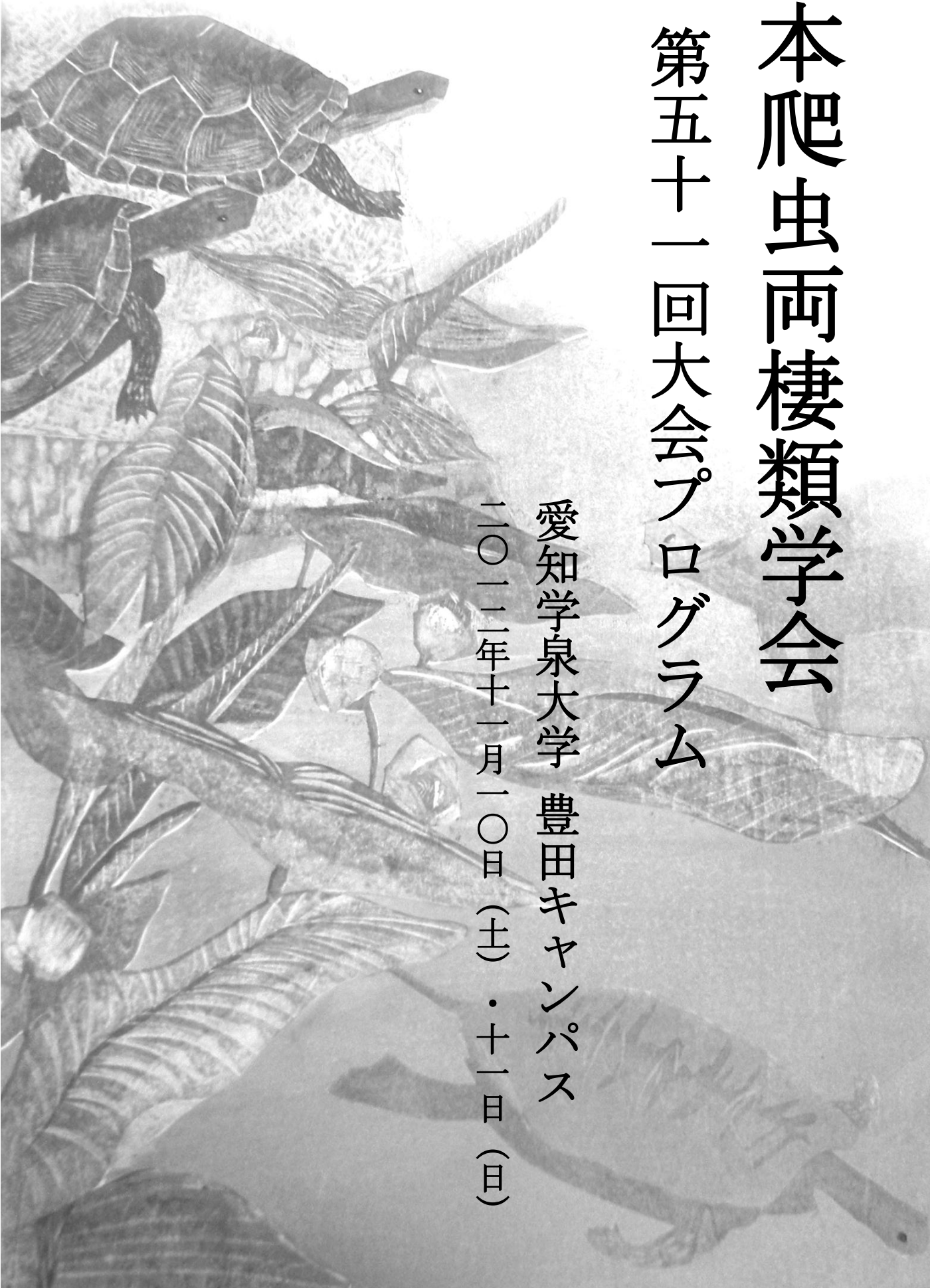
The 51st Annual Meeting of the Herpetological Society of Japan

# 日本爬虫両棲類学会

## 第五十一回大会プログラム

愛知学泉大学 豊田キャンパス

二〇二二年十一月一〇日(土)・十一日(日)



日程：2012年11月10日（土）・11日（日）

11月10日（土）		11月11日（日）	
受付開始	08:30	受付開始	08:30
開会式	09:40 - 09:50	口頭発表	09:00 - 10:15
口頭発表	09:50 - 10:50	写真撮影	10:15 - 10:30
ポスター発表	10:50 - 12:20	ポスター発表	10:30 - 12:00
昼食	12:20 - 13:10	昼食	12:00 - 12:50
公開講演会	13:10 - 14:40	総会	12:50 - 13:50
口頭発表	14:50 - 17:15	口頭発表	13:50 - 16:15
懇親会	17:30 - 19:30	閉会式	16:20 - 16:25
		自由集会	16:40 -

会場：豊田市大池町汐取 愛知学泉大学豊田キャンパス（4ページの図を参照ください）

口頭発表会場： 8号館1階 103多目的ホール（A会場），104講義室（B会場）

ポスター発表会場： 8号館2階 209-210, 212ゼミ室

公開講演会： 4号館（大講義棟）大講義室

懇親会： 5号館（第1学生ホール）第1食堂

会費：当日参加費 3,500円，懇親会費 4,500円

受付：8号館1階ロビー

受付開始は両日8時30分からです。

クローク：8号館1階 102号室

受付では対応できませんので、お預けになれる荷物はクロークまで直接ご自身でお持ちください。

昼食：昼食を予約した方のお弁当は、両日とも11:40以降に受付で配布します。

予約していない方は、10日（土）は5号館の第1食堂と6号館の第2食堂が営業していますのでご利用ください。11日（日）は学生食堂が閉店していますので、正門前の坂を下りたところにあるコンビニエンスストアをご利用ください。なお、大学周辺には飲食店はほとんどありません。

昼食は口頭発表会場（103多目的ホール，104講義室）内でお取りいただいても構いません。

休憩室：8号館1階 101講義室，2階 211ゼミ室

ご自由にお使いください。お茶やお菓子をご用意しています。

記念撮影：11月11日（日）10:15-10:30

午前の口頭発表の終了後に行います。撮影場所は当日お伝えします。

写真は、和文誌にも掲載されますので、写真を申し込まない方もお集まりください。

総会：11月11日（日）12:50-13:50 8号館1階 103多目的ホール

懇親会：11月10日（土）17:30-19:30 5号館（第1学生ホール）第1食堂

大会事務局：〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1

愛知学泉大学現代マネジメント学部

email: [hsj51@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp](mailto:hsj51@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp)

TEL: 0565-35-8373（矢部）または0565-26-2364（島田）

FAX: 0565-35-1677

注意：会期中の電話やメール対応はできかねますが、  
連絡等がありましたら、メールでお願いします。

## 大会会場への交通（愛知学泉大学 豊田キャンパス）

### ●お車でお越しの方

東名自動車道「豊田三好 IC」または「豊田 IC」から約 20 分。  
キャンパス内の駐車場（無料）のスペースは十分あります。

### ●公共交通機関をご利用の方

- ・10 日（土）：愛知環状鉄道「新豊田」駅前または名鉄豊田線「三好ヶ丘」駅前発着のスクールバスをご利用ください（次ページの時刻表を参照）。
- ・11 日（日）：愛知環状鉄道「新豊田」駅前から、朝夕限定の臨時バスを運行します。  
（注意：11 日は三好ヶ丘駅からのバスはありません）

### <名古屋駅からのアクセス>

10 日（土）

「名古屋」駅  
↓ 地下鉄東山線（2 分）  
「伏見」駅  
↓ 地下鉄鶴舞線（36 分：名鉄豊田線に乗り入れ）  
「三好ヶ丘」駅  
三好ヶ丘駅前からスクールバスで約 7 分

11 日（日）

「名古屋」駅  
↓ 地下鉄東山線（2 分）  
「伏見」駅  
↓ 地下鉄鶴舞線（46 分：名鉄豊田線に乗り入れ）  
「豊田市」駅  
豊田市駅（名鉄）から新豊田駅（愛知環状鉄道）まで徒歩（約 5 分）  
新豊田駅前から、スクールバス（10 日）または臨時バス（11 日）で約 14 分

### <空港からのアクセス>

中部国際空港（セントレア）から

空港バス豊田市行きに乗り、豊田市駅（名鉄）降車（80 分；1700 円）  
豊田市駅（名鉄）から新豊田駅（愛知環状鉄道）まで徒歩（約 5 分）  
新豊田駅前から、スクールバス（10 日）または臨時バス（11 日）で約 14 分

県営名古屋空港（小牧空港）から

空港バス（あおい交通）で、名古屋駅前降車（18-23 分；700 円）  
以降は上記<名古屋駅からのアクセス>を参照。

名古屋市内から会場までは 50-60 分かかりますので、豊田市駅、新豊田駅周辺に宿泊されることをおすすめいたします。両駅周辺には宿泊施設は数多くあります。

※東京方面から来られる方は、名古屋駅まで行かずに下記の経路を利用することで、運賃が 1400 円程度安くなりますが、名古屋経由に比べて接続が悪く、若干時間がかかります。10 日の始発で東京を出ても開会式には間に合いませんが、前日入りなどでお時間に余裕のある方は御検討ください。

新幹線（ひかり号）「豊橋」駅下車  
JR 東海道本線「豊橋」駅→「岡崎」駅  
愛知環状鉄道「岡崎」駅→「新豊田」駅

## スクールバス時刻表 10日(土)

※運賃支払時に運転手に大会参加者であることを告げると、無料になります(通常100円)。

● 「新豊田」駅 ⇄ 豊田キャンパス

新豊田駅 発	学泉大学 着	学泉大学 発	新豊田駅 着
8:32	8:46	10:35	10:49
9:02	9:16	11:30	11:44
9:45	9:59	12:45	12:59
10:15	10:29	13:30	13:44
10:50	11:04	14:30	14:44
11:45	11:59	15:15	15:29
13:00	13:14	16:40	16:54
13:45	13:59	17:00	17:14
14:46	15:00	18:00	18:14
15:30	15:44	18:30	18:44

● 「三好ヶ丘」駅 ⇄ 豊田キャンパス

三好ヶ丘 発	学泉大学 着	学泉大学 発	三好ヶ丘 着
8:10	8:17	8:00	8:07
8:40	8:47	8:33	8:40
9:10	9:17	8:55	9:02
9:40	9:47	9:30	9:37
10:20	10:27	10:13	10:20
11:38	11:45	11:20	11:27
12:38	12:45	12:23	12:30
13:38	13:45	13:23	13:30
14:55	15:02	14:43	14:50
15:55	16:02	15:40	15:47
16:38	16:45	16:25	16:32
17:25	17:32	17:18	17:25
18:10	18:17	18:03	18:10
18:35	18:42	18:25	18:32

※懇親会後は新豊田駅まで無料バスを運行します。

11日(日) ※大会用のチャーターバスにつき、無料です。

● 「新豊田」駅 ⇄ 豊田キャンパス

新豊田駅 発	学泉大学 着	学泉大学 発	新豊田駅 着
8:10	8:24	16:05	16:19
8:25	8:39	16:10	16:24
8:40	8:54	16:35	16:49
9:00	9:14	16:40	16:54
9:20	9:34	17:00	17:14
10:00	10:14	18:20	18:34

## タクシー連絡先

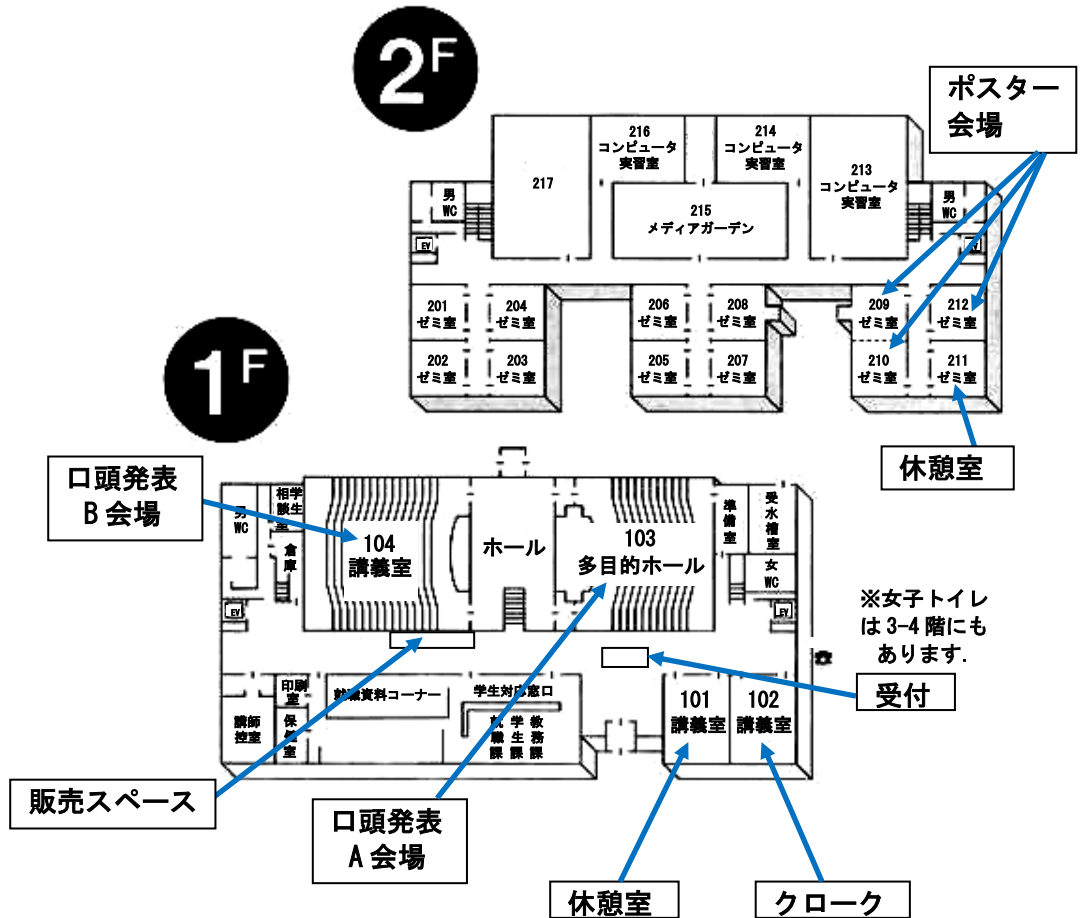
愛知つばめ交通 (0561-32-0123)  
 豊栄交通 (0565-28-0228)  
 挙母タクシー (0565-32-1246)  
 名鉄東部交通 (0565-32-1541)

(三好ヶ丘駅まで1400円前後、新豊田、豊田市駅まで1600-1700円程度です)

[愛知学泉大学 学内配置図]



8号館(大会会場)配置図



## 講演される方へ

### 口頭発表をされる方

#### 時間

講演は1題につき発表時間12分、質疑応答が3分です。10分、12分、14分30秒に予鈴を鳴らします。スライド数に制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。

#### 使用ソフト

Windows (7)とMacOS Xを用意します。使用できるソフトはMicrosoft PowerPoint (Windows版はOffice 2010、Mac版はOffice 2011)とAdobe (Acrobat) Reader, KeyNote (MacOS X)です。なお、個人のノートパソコンのプロジェクターへの接続はできません。あらかじめご了承下さい。

#### 発表データ

当日は、発表用ファイルをCDにてご持参下さい。CDの不具合も予想されますので、万一に備えフラッシュメモリー等でもバックアップをご用意頂ければ幸いです。なお、当日の受付は混雑が予想されますので、時間に余裕を持ってお越しください。可能な方はCDの事前提出をお願いいたします。大会事務局まで郵送していただければ、事務局で動作確認をした上で連絡を差し上げます。

#### 発表データの提出

当日の発表データ提出に関しては、「口頭発表データ受付」(大会受付横)にコンピューターを用意いたしますので、各自作動を確認した上で、早めにCDを受付にご提出下さい。時間に遅れると、最悪の場合、発表できない事態も考えられますので、くれぐれもご注意下さい。

#### 注意事項

備え付けのコンピューターの使用は、ファイルのコピーとファイルの作動の確認のみにとどめてください。受付での文字やレイアウトの変更は他の発表者の方々のご迷惑になりますので、かたくお断り申し上げます。PowerPointで作成される場合は、文字化けやレイアウトのずれがないよう、システムに含まれるフォント(MSゴシック等)を使用すること、各スライドには余白を十分に取ること、アニメーションを入れずに製作することをお勧めいたします。特にPowerPointのバージョンが異なると、レイアウトが変わることがありますのでご注意下さい。上のバージョンをご使用でない方、ご心配な方はPDF形式でも保存しておく等の対応をお願い申し上げます。

### ポスター発表をされる方

ポスター会場のパネルに講演番号を付けてありますので、所定の場所に10日(土)の10時までに貼って下さい。ポスターパネルの大きさは、幅120cm×高さ180cmです。例年のパネルより、かなり横幅に余裕がありますので、A0以上のサイズのポスターでもその範囲内に収まれば貼り付け可能です。

奇数番の発表者は主に10日(土)、偶数番の発表者は主に11日(日)のポスター発表の時間にポスター前にお立ち下さい。ポスターは、10日(土)の9:00からお貼りいただいて結構です。また、11日(日)の16:40までに剥がして下さい。この時刻までに剥がされていないポスターは事務局で処分いたします。

#### 講演要旨の提出

電子データでの提出をお願いします。詳細は次ページの和文誌編集委員会からのお知らせをご覧ください。

## 日本爬虫両棲類学会第51回大会 講演要旨の作成と提出に関する要項

### ◆はじめに

今大会の講演要旨は、2013年3月発行予定の爬虫両棲類学会報第2013巻第1号に掲載されることになっています。講演要旨を掲載するにあたっては、原稿の回収や編集が大きな負担となるため、次のような要項で講演要旨の電子データによる提出をお願いしております。今大会も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、どうしても電子データの提出が困難な場合は手書き原稿のみで結構です。

### ◆講演要旨作成について

口頭発表、ポスター発表とも講演要旨を作成して下さい。表題、発表者氏名、所属、英文表題、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は660字(22字×30行)以内、英文の場合は200 words以内です。レイアウトは爬虫両棲類学会報第2012巻第1号の学会大会講演要旨をご参照下さい。手書きの場合は400字詰め原稿用紙にお書き下さい。なお、爬虫両棲類学会報は和文を原則としているので、外国人の方が主発表者の場合でも、日本人の方が共同発表者に入っている場合は、和文の要旨をご用意ください。

### ◆電子データ提出について

#### 1. メールをご利用になる方

11月9日 AM10時までに講演要旨をメールの添付ファイルとしてお送り下さい。利用できるワープロソフトは、MSワード、またはMSワード互換ソフトです。他のソフトの場合も、MSワードで読み込める形式(拡張子 doc または docx)のファイルを作成して下さい。ワードファイルをメールでお送りいただいた場合は、大会当日に印刷原稿をお持ちいただく必要はありません。ワードファイルを作れない場合は、メールの本文に講演要旨を入れてください。ただし、その場合は、イタリック体や特殊文字が利用できませんので、それらを指示した印刷原稿を大会当日に受付に提出してください。

#### 2. 添付するファイル名について

ファイル名は、必ず『講演番号-第1発表者氏名』としてください。講演番号は半角の大文字とし、講演番号と第1発表者名の間には、半角の-を挿入してください。

(例：P-01-愛知太郎.doc)

講演要旨送り先アドレス：[hsj51@ml.keio.jp](mailto:hsj51@ml.keio.jp)

#### 3. メールをご利用にならない方

大会当日に印刷原稿とその電子データをご提出下さい。利用出来るワープロソフトはメールの場合と同じです。それらのソフトがない場合は、テキスト形式のデータをお願いします。電子データは、CD-R、CD-RWのいずれかに保存してください。特にご要望のない限り、媒体の返却は致しませんのでご了承下さい。提出はいずれも大会受付をお願いします。

注意：パソコンで表記出来ない漢字が含まれる場合は、表記可能な漢字に代替して頂くか、それが困難な場合は、印刷原稿に指定の漢字を朱書きしてご提出下さい。

### ◆手書き原稿のみを提出の場合

口頭発表、ポスター発表ともに、大会当日に受付へご提出下さい。

日本爬虫両棲類学会  
和文誌編集委員会

11月10日(土)

9:40-9:50 開会式 A会場(103多目的ホール)

口頭発表 午前の部 A会場(103多目的ホール)

(座長:持田浩治)

O-01 9:50—10:05

- 角田羊平(京大・院理・動物)・戸田守(琉球大・熱生研)・森哲(京大・院理・動物)  
「ヒメハブにおける餌の匂いに対する選好性の島嶼間比較」

O-02 10:05—10:20

- 森哲(京大・理・動物)・戸田守(琉大・熱生研)  
「野外におけるヒメハブの成長と寿命」

O-03 10:20—10:35

- 城野哲平(京大・動物行動)  
「体サイズか、ツノか、それとも色変化か:フサエカメレオン属のオス間闘争における複数の視覚シグナルの役割」

O-04 10:35—10:50

- 添田晴日(琉球大・院理工)・竹中踐(東海大・生物理工)・戸田守(琉球大・熱生研)  
「ミナミヤモリ *Gekko hokouensis* における体サイズの地理的変異とその一要因としての繁殖特性の集団間比較」

口頭発表 午前の部 B会場(104講義室)

(座長:戸金大)

O-05 9:50—10:05

- 松木崇司(環境省)・井上祐子(東京都)・松井正文(京大・人間・環境)  
「カスミサンショウウオ成体の繁殖期における食性」

O-06 10:05—10:20

- 見澤康充・中村了(建設環境研究所)  
「同所的に生息するトウホクサンショウウオとクロサンショウウオ幼体の簡易識別方法」

O-07 10:20—10:35

- 大澤啓志(日大・生物資源)  
「モリアオガエルの繁殖期の木登り活動」

O-08 10:35—10:50

- 倉林敦・掛橋竜祐・田澤一朗・住田正幸(広島大・両生類研)・原本悦和・大嶋友美・伊藤弓弦(産総研・幹細胞)  
「次世代モデル動物ネッタイツメガエルとその輸送法の改善について」

10:50-12:20 ポスター発表 (209-210, 212ゼミ室)

12:20-13:10 昼休み



13:10-14:40 公開講演会 4号館（大講義棟）大講義室

『 東海の爬虫類・両生類 — 生物地理学の観点から 』

矢部 隆 趣旨説明

松井 正文 両生類の生物地理からみた東海地方

疋田 努 日本列島の爬虫類の生物地理 — 東海地方の特徴

口頭発表 午後の部 A会場（103 多目的ホール）

（座長：高橋洋生）

O-09 14:50—15:05

- 林光武（栃木県博）・木村有紀（根本山自然観察セ）  
「栃木県におけるヌマガエルの分布拡大」

O-10 15:05—15:20

- 岡本卓（国立環境研）・栗山武夫（東邦大）・五箇公一（国立環境研）・長谷川雅美（東邦大）  
「伊豆諸島八丈島における在来種オカダトカゲと外来種ニホントカゲの生息密度と繁殖生態の比較（予報）」

O-11 15:20—15:35

- 桑原一司（アンフィビアン・アーク）・伊東明洋（瑞穂ハンザケ自然館）・森岡弘典（邑南町教育委員会）  
「島根県邑南町におけるニホンヒキガエル保全の道路工事の一例」

O-12 15:35—15:50

- 住田正幸・井川武・Islam M. M.・新谷望・掛橋竜祐・菅原弘貴・倉林敦（広島大・院理・両生類研）・大海昌平（奄美市）・勝連盛輝（沖縄県環境衛生研）・田戸美雪・藤井保（県立広島大）  
「南西諸島の絶滅危惧両生類における飼育下繁殖と遺伝的分化」

15:50-16:00 休憩

（座長：栗田隆気）

O-13 16:00—16:15

- 皆藤琢磨（琉大院・理工）・戸田守（琉大・熱生研）  
「ヒバァ類の分岐年代から示唆される琉球列島の古地理」

O-14 16:15—16:30

- Nontivich Tandavanitj (Univ. Ryukyus), Shinya Mitani (Toba Aquarium) & Mamoru Toda (Univ. Ryukyus)  
「Origins of unsuccessful sea krait migrants (Elapidae: Laticaudinae) collected from the main islands of Japan as inferred from molecular data」

O-15 16:30—16:45

- 柴田弘紀・山本真由美（九大・生医研）・千々岩崇仁（崇城大・生物生命）・服部正策（東大・医科研）・上田直子（崇城大・薬）・大野素徳（崇城大・生物生命）・服巻保幸（九大・生医研）  
「日本産ハブ属（*Protobothrops* 属）の島集団間における mtDNA の遺伝的分化」

O-16 16:45—17:00

- 疋田努（京大・理・動物）・松井正文（京大・人間・環境）

「マレーシア・サラワク州ムルー国立公園のホソユビヤモリ」

O-17 17:00—17:15

- 太田英利（兵庫県立大・自然研）・竹内美里（兵庫県立大・環境人間）・呉弘植（済州国立大・理科教育）・ニコライ=オルロフ・ナターリア=アナンジェーワ（ロシア科学アカデミー・動物学研究所）・河村功一（三重大・生物資源）  
「日本とその周辺におけるニホンスッポン種群の遺伝的多様性と分類」

## 口頭発表 午後の部 B会場（104 講義室）

（座長：尾形光昭）

O-18 14:50—15:05

- 青木玄・松井正文・西川完途（京都大・人間・環境）  
「トウホクサンショウウオの遺伝的変異：ミトコンドリア DNA と核 DNA の塩基配列に基づく系統解析結果の比較」

O-19 15:05—15:20

- 水戸直・島田歩・福嶋将和・松本浩樹・三上義之・安井博也・大島一彦・齊藤修（長浜バイオ大・バイオサイエンス, 田村山ネット）  
「滋賀県に生息するカスミサンショウウオ集団の多様性とその保護について」

O-20 15:20—15:35

- 二村凌・梅村啓太郎・米川可奈子・大前佳穂・高橋晃太郎・小林敬弘・加藤真帆（岐阜高校・自然科学部）・向井貴彦（岐阜大学・地域科学部）・高木雅紀（岐阜高校）  
「岐阜県に生息するカスミサンショウウオの保護活動と遺伝的多様性の解析（Ⅱ）」

O-21 15:35—15:50

- 中村泰之・戸田守（琉球大・熱生研）  
「オキナワアオガエルの島嶼個体群の系統関係とその亜種分類の再評価」

15:50—16:00 休憩

（座長：松木崇司）

O-22 16:00—16:15

- 新谷望・井川武・住田正幸（広島大・院理・両生類研）  
「アマミシカワガエルの飼育下における温度条件と遺伝的要因が個体生存率に与える影響」

O-23 16:15—16:30

- 秋山繁治（清心女子高）  
「オオイタサンショウウオの卵からの飼育個体での繁殖法の確立を目指して」

O-24 16:30—16:45

- 永野昌博・藏淵友花（大分大・教育）  
「環境変化がオオイタサンショウウオの繁殖に及ぼす影響」

O-25 16:45—17:00

- 山本一成（大分大・院・教育）・永野昌博（大分大・教育）  
「オオイタサンショウウオにおける溶存酸素量とエラの発達の関係」

O-26 17:00—17:15

- 三浦郁夫・大谷浩己（広島大・院理・両生類）・藤谷武史（東山動物園）  
「ヌマガエルの性比と性決定」

17:30—19:30 懇親会 5号館（第1学生ホール）第1食堂

11月11日（日）

口頭発表 午前の部 A会場（103 多目的ホール）

（座長：江頭幸士郎）

- O-27 9:00—9:15  
○吉川夏彦・松井正文（京大・人間・環境）・村山美穂（京大・野生動物研）  
「次世代シーケンサーによるマイクロサテライトマーカーの開発とその利用」
- O-28 9:15—9:30  
大海昌平（奄美市）・○岩井紀子（東大演習林）・亘悠哉（日林協）  
「アマミシカワガエルの地域間体サイズ比較」
- O-29 9:30—9:45  
○大村文乃（東大院農・東大博物館）・安西航（東大院理・東大博物館）・江島賢一郎・本田和也  
（日大歯 放射線）・遠藤秀紀（東大博物館）  
「両棲類有尾目の体幹部形態による環境適応について」
- O-30 9:45—10:00  
○松尾公則（長崎県）  
「長崎県五島列島のタゴガエル」
- O-31 10:00—10:15  
○倉石典広・松井正文・ハミディ＝アミール（京大・人間・環境）  
「スマトラ産カブトシロアゴガエルについて」

口頭発表 午前の部 B会場（104 講義室）

（座長：城野哲平）

- O-32 9:00—9:15  
○長谷川雅美（東邦大・理）  
「捕食者の色彩多型の維持機構が捕食者・被食者の密度サイクルの長さに及ぼす生態学的効果—伊豆諸島のシマヘビとオカダトカゲによる実証」
- O-33 9:15—9:30  
○村上新（東邦大・院）・栗山武夫・長谷川雅美（東邦大・理）  
「シマヘビの色彩多型—ストライプ型と非ストライプ型の色彩パターンは孵化後いつから見分けられるか？」
- O-34 9:30—9:45  
○栗山武夫・江刺順子・杉本雅純・宮地和幸・長谷川雅美（東邦大・理）  
「カナヘビ類の体色を作る色素細胞-緑色と茶色」
- O-35 9:45—10:00  
○笹井隆秀（琉球大・理工）・持田浩治（琉球大・熱生研）・戸田守（琉球大・熱生研）  
「トカゲ属数種の温度生態：トカゲは野外で最適温度を達成しているのか？」
- O-36 10:00—10:15  
○持田浩治（琉大・熱生研）・笹井隆秀（琉球大・理工）・角田羊平（京大・動物）・戸田守（琉大・熱生研）  
「カナヘビ属の温度生態に対する色彩多型の影響」

10:15-10:30 記念写真撮影

10:30-12:00 ポスター発表 (209-210, 212 ゼミ室)

12:00-12:50 昼休み

12:50-13:50 総会 A会場 (103 多目的ホール)

口頭発表 午後の部 A会場 (103 多目的ホール)

(座長：倉石典広)

O-37 13:50-14:05

○ハミディ=アミール・松井正文・西川完途 (京大・人間・環境)  
「マレーシア・サラワク・バリオ産のウデナガガエル属について」

O-38 14:05-14:20

○Mahmudul Hasan (Hiroshima Univ.), Mitsuru Kuramoto (Fukuoka city), Mohammed Mafizul Islam, Mohammad Shafiqul Alam, (Hiroshima Univ.), Md. Mukhlesur Rahman Khan (Bangladesh Agri. Univ.) & Masayuki Sumida (Hiroshima Univ.)  
「A new species of genus *Hoplobatrachus* (Anura, Dicroglossidae) from the coastal belt of Bangladesh」

O-39 14:20-14:35

○西川完途・松井正文・吉川夏彦・江頭幸士郎 (京大・人間・環境) ・タオ=ティエン=グエン (ベトナム国立自然博) ・江建平 (中国科学院・成都)  
「ベトナム北部産ミナマイボイモリ属 *Tylostrotiton* の一種について」

O-40 14:35-14:50

○松井正文・アミール=ハミディ・江頭幸士郎 (京大・人間・環境)  
「インドネシア・バリ島産のヒメアマガエル属について」

14:50-15:00 休憩

(座長：井川武)

O-41 15:00-15:15

○江頭幸士郎・松井正文 (京大・人間・環境)  
「関東地方産タゴガエル・ナガレタゴガエルの遺伝的変異」

O-42 15:15-15:30

○富永篤 (琉球大・教育) ・松井正文 (京都大・人間・環境)  
「ホルストガエルに見られる遺伝的変異」

O-43 15:30-15:45

○尾形光昭 (横浜市繁殖センター) ・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)  
「ツチガエルの XY 型と ZW 型集団の接触地帯における遺伝的調査」

O-44 15:45-16:00

○川原康寛・松井正文 (京都大・人間・環境)  
「シュレーゲルアオガエルの遺伝的変異」

- O-45 16:00—16:15  
○西村龍彦・松井正文（京都大・人間・環境）  
「ドリマガエル種群数種の遺伝的変異」

## 口頭発表 午後の部 B会場（104 講義室）

（座長：小林頼太）

- O-46 13:50—14:05  
○戸田光彦（自然研）  
「輸入資材への混入が確認された両生類・爬虫類の記録」
- O-47 14:05—14:20  
○高橋洋生・秋田耕佑・中川直美・鋤柄直純・戸田光彦（自然研）  
「グリーンアノール防除のための新手法の開発」
- O-48 14:20—14:35  
○谷口真理・亀崎直樹・三根佳奈子（須磨水）  
「西日本の池の環境要因とアカミミガメの生息密度との関係」
- O-49 14:35—14:50  
○辻井聖武（名城大・環境動物）・矢部隆（学泉大・マネジメント）・日野輝明（名城大・環境動物）  
「千葉県印旛沼水系における外来種カミツキガメ（*Chelydra serpentina*）の食性」

14:50—15:00 休憩

（座長：鈴木大）

- O-50 15:00—15:15  
○亀崎直樹（須磨水/日ウミガメ協）・石原孝（東大生圏システム/日ウミガメ協）・宮内叶・山下傑（日ウミガメ協）  
「定置網の捕獲個体から推察する四国・九州沿岸のアオウミガメの生態」
- O-51 15:15—15:30  
○大内裕貴（東京大・農・生圏/日ウミガメ協）・亀崎直樹（須磨水/東京大・農・生圏）・笠井康訓（日ウミガメ協）  
「アカウミガメの産卵巣隠蔽行動について」
- O-52 15:30—15:45  
○石原孝（東京大・農・生圏/日ウミガメ協）・亀崎直樹（須磨水/東京大・農・生圏）・岩本太志・戎井千亜希・山下傑（日ウミガメ協）  
「高知県室戸岬沿岸に出現するアカウミガメの季節特性」
- O-53 15:45—16:00  
○尾崎真澄（千葉生物多様性セ）  
「カメの卵を食べたのは誰か？」
- O-54 16:00—16:15  
○辰巳敬哉（神戸大・農）・亀崎直樹（須磨水）・藍原祥子（神戸大・農）・山下真路（鳥取大・獣医）・谷口真理・三根佳奈子（須磨水）・坂本未来・木下今日子・横山俊史・北川浩（神戸大・農）・今川智敬（鳥取大・獣医）・金沢和樹・星信彦（神戸大・農）  
「カメ類における「膀胱」の形態機能学的研究」

16:20-16:25 閉会式 A会場（103多目的ホール）

16:40- 自由集会

A会場（103多目的ホール）

系統地理談話会（世話人：戸田 守）



ポスター発表 (209-210, 212ゼミ室)  
11月10日(土)・11日(日)

事務局からのお願い：なるべく奇数番の講演者は10日(土)に、偶数番の講演者は11日(日)にはポスターの前に立つようにしてください。

- P-01 ○上野真太郎(東京大・農・生圏)・亀崎直樹(須磨水/東京大・農・生圏)  
「ニホンイシガメとクサガメの交雑個体の形態」
- P-02 ○小賀野大一(市原高)・松本忠夫(放送大)  
「房総半島の淡水性カメ類相」
- P-03 ○楠田哲士(岐阜大・応用生物)・安川雄一郎(高田爬虫類研・沖縄)・柴田弘紀(九州大)・吉崎範夫(岐阜大・応用生物)  
「カメ類における卵殻構造の多様性」
- P-04 ○矢部隆(学泉大・マネジメント)・澤田英司(徳島県立農林水産総合技術支援センター)  
「徳島県鳴門市におけるミシシippアカミミガメによるレンコンの食害」
- P-05 ○西堀智子(和亀)  
「大正川(大阪)と寺田池(兵庫)に生息するミシシippアカミミガメの幼体の性比」
- P-06 ○三根佳奈子・谷口真理・亀崎直樹(須磨水)  
「日本に定着したミシシippアカミミガメの雄の成熟サイズと生殖腺重量の季節変化」
- P-07 ○鈴木大(九大・比文)・疋田努(京大・院・理)  
「ミトコンドリアDNA塩基配列に基づくスッポン属の分子系統」
- P-08 ○高橋亮雄(岡山理大・理)・末廣美琴(岡山理大・総合情報)  
「セマルハコガメ属(イシガメ科)の腸骨の形態について」
- P-09 ○湯橋翔(兵庫県立大・環境人間)・太田英利(兵庫県立大・自然研)  
「淡路島における淡水生カメ類の分布パターン」
- P-10 ○堀江真子・田上正隆・堀江俊介(世界淡水魚園水族館 アクア・トトギふ)  
「飼育下におけるタゴガエルの繁殖」
- P-11 阿部道生・天野亜希(横浜市緑の協会)・内山翼(横浜市環境創造局)・○佐々木史江・柴田葉子・西川文敏・平川公子・福山欣司・松岡文和(横浜市環境創造局)・(円海山かえる探偵団)  
「円海山周辺域のヤマアカガエルの産卵状況—氷取沢市民の森の水辺環境の復元管理について」
- P-12 ○志賀優・草野保(首都大・理工・生命科学)  
「東京都八王子市南大沢におけるヤマアカガエル(*Rana ornativentris*)の卵および幼生期の成長と生残過程」
- P-13 ○小林聡・阿部聖哉・松木吏弓(電中研・生物)  
「遺伝学的手法を用いたニホンアカガエルの繁殖地からの移動距離推定の試み」
- P-14 ○小林頼太・西川潮(新潟大・朱鷺自然再生セ)  
「佐渡島における環境保全型農法がカエル類の密度に及ぼす影響」
- P-15 ○八木愛(麻布大院・獣)・福山欣司(慶応大・生物)・戸金大(明治学院大学)・高槻成紀(麻布大院・獣)

「里山におけるニホンアカガエルとトウキョウダルマガエルの生息地利用と餌資源利用 —東京都町田市の事例—」

- P-16 ○坂部あい・横田賢史（海洋大）丸山隆（藤沢市）  
「夏期の日中の湿地で観察されたトウキョウダルマガエルの生活場所選択」
- P-17 ○高井孝太郎（道総研）  
「北海道に侵入したトウキョウダルマガエル (*Rana porosa porosa*) の分布推移」
- P-18 ○更科美帆・吉田剛司（酪農大院・野生動物）  
「北海道の外来カエル5種の食性」
- P-19 ○山中美優（東大・農・生物多様性）・小林頼太（新潟大・超域）・関谷國男（新潟大・超域）・宮下直（東大・農・生物多様性）  
「佐渡島に生息するツチガエルの一種の空間的遺伝構造」
- P-20 ○芦澤航（日大・院・生物資源）・大澤啓志・勝野武彦（日大・生物資源）  
「三浦半島の河川源流部におけるツチガエル幼生の越冬状況」
- P-21 ○島田知彦・青木友紀・加藤淳太郎（愛教大・理科・生物）  
「ツチガエルのゲノムサイズに見られる地理的変異」
- P-22 ○Dong-youn Kim, Hang Lee & Mi-Sook Min (CGRB/Seoul National University)  
「Genetic diversity and Geographical distribution of Korean wrinkled frogs (*Rana rugosa*)」
- P-23 ○Suwon Chun, Hang Lee & Mi-Sook Min (CGRB/Seoul National University)  
「Genetic diversity of endangered species, *Hyla suweonensis*, in Korea」
- P-24 ○Chang-hoon Lee, Hang Lee & Mi-Sook Min (CGRB/Seoul National University)  
「Genetic diversity of *Bufo gargarizans* in South Korea using mitochondrial cytochrome b gene」
- P-25 ○南部久男（富山科博）・福田保（富山東高）  
「野積川（富山県）におけるヒキガエル類の産卵場所（2011-2012年）」
- P-26 ○佐藤直樹（上越市）・金子輝美（妙高高原ビジターセンター）  
「いもり池周辺のカエル相」
- P-27 徳増大輔（広島大・理・生物科学）・井川武（広島大・院理・両生類研）・Min Mi-Sook（ソウル大・獣医）・住田正幸（広島大・院理・両生類研）  
「ウシガエルはどこから来て、なぜ駆逐されないのか？：侵入成功と個体群存続における遺伝的要因の調査」
- P-28 ○伊原禎雄（奥羽大・生物）  
「福島県只見町で観察されたカエルの大量死」
- P-29 ○栗田隆気（琉球大・理工）・戸田守（琉球大・熱生研）  
「骨年輪法による齢査定に基づいたクロイワトカゲモドキの齢構成、寿命および成長」
- P-30 ○戸田守（琉球大・熱生研）・笹井隆秀（琉球大・海洋自然）・角田羊平（京大・動物）  
「オキナワトカゲの日周移動の観察」
- P-31 ○原田龍一（佐賀大・農）  
「トカゲ（オスと幼体）とカナヘビの日向利用頻度」



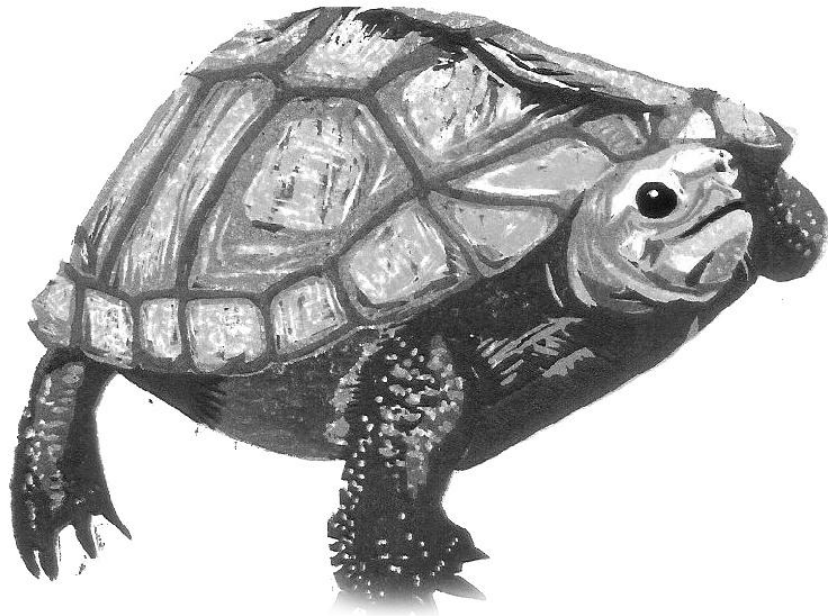
- P-32 ○土金慧子（無所属）  
「"トカゲ（カナヘビ）の尻尾切り"はどこで起こっているのか？」
- P-33 ○小泉有希・疋田努（京大・院理・動物）  
「東アジア島嶼域および韓国産スベトカゲ類の系統地理」
- P-34 ○安西航（東大院理・博物館）・大村文乃（東大院農・博物館）・河田雅圭・Cadiz Diaz Antonio（東北大・生命）・遠藤秀紀（東大・博物館）  
「アノールトカゲ属の四肢における筋骨格形態と行動生態の関係」
- P-35 ○若狭甫・岩寄航・カディス=ディアス=アントニオ・西村佑紀・田村宏治・河田雅圭（東北大・院生命）  
「2種の近縁なアノールトカゲの指長の形成過程の比較」
- P-36 ○岸田拓士（京大・霊長研）・早野あづさ（京大・総合博）・村山美穂（京大・野生研）・疋田努（京大・院理）  
「同所的に生息する近縁種の嗅覚能力は似ているのか？ バヌアツに同所的に生息する *Laticauda* 属 ウミヘビ 2種の嗅覚受容体遺伝子レパートリーの比較」
- P-37 ○竹中踐（東海大・生物）・森ロー（蛇研）  
「ハブの生殖調査（予報）－白体分析の有効性」
- P-38 ○山崎陽平（帝科大・院）・森貴久（帝科大・生命環境・アニマルサイエンス）  
「タカチホヘビの活動性に影響する要因：気象条件とミミズの活動性」
- P-39 ○Ikuko Fujisaki, Frank J. Mazzotti (Univ. Florida), Kristen M. Hart, Ken G. Rice (U.S. Geological Survey), Brain M. Jeffery (Univ. Florida), Laura A. Brandt (U.S. Fish and Wildlife Service), Mike S. Cherkiss (U.S. Geological Survey) & Cristina A. Ugarte (Univ. Florida)  
「Population surveys and conservation of American alligator (*Alligator mississippiensis*) in the Everglades wetlands」
- P-40 ○川上遥・竹内浩昭（静岡大・理・生物）  
「アホロートルの摂餌行動：食物、環境温度に依存した嗜好性の変化」
- P-41 ○秋田耕佑（自然研）・平井規央・石井実（大阪府大院・生環・昆虫）  
「大阪府に生息するコガタブチサンショウウオ *Hynobius yatsui* 集団の遺伝的構造」
- P-42 ○太田宏（東北大・高教センター）・金谷弦（国立環境研）  
「安定同位体分析によるトウホクサンショウウオとクロサンショウウオの食性比較」
- P-43 ○藤谷武史（名市大・システム自然 東山動物園）・能登原盛弘・熊澤慶伯（名市大・システム自然）  
「尾張地区におけるカスミサンショウウオの遺伝的解析」
- P-44 ○三上義之・水戸直・大島一彦・齊藤修（長浜バイオ・バイオサイエンス・田村山ネット）  
「滋賀県甲賀市に生息するカスミサンショウウオの生態調査と遺伝的系統解析」
- P-45 ○島田歩・水戸直・大島和彦・齊藤修（長浜バイオ大・バイオサイエンス，田村山ネット）  
「滋賀県長浜市に生息するカスミサンショウウオの生態調査と遺伝系統解析Ⅲ」

## 大会参加者名簿

(アルファベット順, ○は懇親会参加者, 演者としての発表の講演番号のみを記載)

- 阿慈谷 諭
  - 秋田 耕佑, P-41
- 秋山 繁治, O-23
- 網本 壮一郎
- 安西 航, P-34
- 青木 玄, O-18
  - 荒尾 智哉
  - 芦澤 航, P-20
- Chun Suwon, P-23
- 遠藤 聡子,
- 江頭 幸士郎, O-41
  - Fujisaki, Ikuko, P-39
- 藤田 宏之
- 藤谷 武史, P-43
- 福山 欣司
  - 二村 凌, O-20
- 後藤 康人
- ハミディ アミール, O-37
- 原 幸治
- 原田 龍一, P-31
- Hasan Mahmudul, O-38
- 長谷川 巖
- 長谷川 雅美, O-32
- 長谷川 道明
- 林 光武, O-09
- 林 聡彦
- 疋田 努, O-16
- 堀江 真子, P-10
- 星 信彦
- 井川 武, P-27
- 伊原 禎雄, P-28
- 飯塚 光司
- 石原 孝, O-52
- 岩井 紀子, O-28
- 城野 哲平, O-03
- 角田 羊平, O-01
- 鶏内 博之
- 皆藤 琢磨, O-13
- 亀崎 直樹, O-50
  - 上瀧 七美
  - 加藤 真帆
- 川原 康寛, O-44
  - 川上 遥, P-40
  - 川崎 繭
- Kim Dong-young, P-22
- 木村 有紀
- 岸田 拓士, P-36
- 小林 清重
- 小林 頼太, P-14
- 小林 聡, P-13
  - 小林 敬弘
- 小泉 有希, P-33
- 小森 康之
- 近藤 めぐみ
- 倉林 敦, O-08
- 倉石 典広, O-31
- 栗田 隆気, P-29
- 栗山 武夫, O-34
- 草間 啓
- 楠田 哲士, P-03
- 桑原 一司, O-11
- Lee Chang-Hoon, P-24
- 前田 憲男,
- 丸山 正樹
- 松井 正文, O-40
- 松木 崇司, O-05
- 松尾 公則, O-30
  - 三上 義之, P-44
- 三笠 友彰
- Min Mi-sook
- 三根 佳奈子, P-06
- 見澤 康充, O-06
  - 水戸 直, O-19
- 三浦 郁夫, O-26
- 持田 浩治, O-36
- 森 哲, O-02
- 森口 一
- 森田 悦朗
- 村上 新, O-33
- 永野 昌博, O-24
- 中村 康子
  - 中村 泰之, O-21
- 中澤 隆太
- 南部 久男, P-25
- 西堀 智子, P-05
- 西川 完途, O-39
- 西村 龍彦, O-45
- 小賀野 大一, P-02
- 尾形 光昭, O-43
- 岡本 卓, O-10
- 大村 文乃, O-29
- 大澤 啓志, O-07
- 太田 英利, O-17
- 太田 宏, P-42
- 大谷 ショーン
- 大内 裕貴, O-51
- 尾崎 真澄, O-53
- 坂部 あい, P-16
  - 更科 美帆, P-18
- 笹井 隆秀, O-35
  - 佐々木 史江, P-11
- 佐藤 直樹, P-26

- 芹沢 俊介
- 柴田 弘紀, O-15
- 志賀 優, P-12
- 島田 歩, P-45
- 島田 知彦, P-21
- 篠塚 理
- 新谷 望, O-22
- 添田 晴日, O-04
- 住田 正幸, O-12
- 鈴木 大, P-07
- 田上 正隆
- 高木 雅紀
- 高橋 亮雄, P-08
- 高橋 洋生, O-47
- 高橋 晃太郎
- 高井 孝太郎, P-17
- 竹田 正義,
- 竹中 踐, P-37
- Tandavanitj Nontivich, O-14
- 谷口 真理, O-48
- 辰巳 敬哉, O-54
- 戸田 守, P-30
- 戸田 光彦, O-46
- 戸金 大
- 富永 篤, O-42
- 土金 慧子, P-32
- 辻井 聖武, O-49
- 塚本 誠太
- 都築 明美
- 上野 真太郎, P-01
- 梅村 啓太郎
- 臼田 隼人
- 若狭 甫, P-35
- 若澤 英明
- 渡辺 潔
- 矢部 隆, P-04
- 八木 愛, P-15
- 山本 一成, O-25
- 山中 美優, P-19
- 山崎 陽平, P-38
- 安森 盟文
- 米川 可奈子
- 吉川 夏彦, O-27
- 吉村 雅子
- 湯橋 翔, P-09



日本爬虫両棲類学会第51回大会事務局

〒471-8532 愛知県豊田市大池町汐取1  
愛知学泉大学現代マネジメント学部

大会長：矢部 隆 愛知学泉大学現代マネジメント学部  
実行委員：島田知彦 愛知教育大学教育学部  
楠田哲士 岐阜大学応用生物科学部  
岩井紀子 東京大学生態水文学研究所（愛知県瀬戸市）

E-mail: [hsj51@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp](mailto:hsj51@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp)

TEL: 0565-35-8373（矢部）または 0565-26-2364（島田）

FAX: 0565-35-1677

- プログラムの記載に誤りを見つけられた場合は、メールにてご連絡ください。
- おもて、うら表紙のイラストは、務川めぐみ氏による木版画です。